



## 交差点等での事故対策により「死傷事故が減少」

～交通事故対策の効果～

福島河川国道事務所では、福島県事故ゼロプランに基づき、交差点等での交通事故対策に取り組んでいます。

このうち、平成27年3月までに対策を実施した、「国道13号トラックターミナル入口交差点」及び「国道4号鎌田地区」の整備効果がまとまりましたのでお知らせします。

### ◆国道13号 トラックターミナル入口交差点

対策内容：右折レーンの正対化（交差点内の見通し確保）  
注意喚起標識（左折事故対策）  
右折誘導線のカラー化  
路面標示のカラー化（追突事故対策）

効果概要：死傷事故が**未発生！**

2.7件/年 → 0件/年

事故原因の一因であった**急ブレーキ回数が約4割減少！**

### ◆国道4号鎌田地区

対策内容：植栽撤去（見通し確保）  
路面標示のカラー化（追突事故対策）

効果概要：死傷事故が**減少！**

6.2件/年 → 3.0件/年

事故原因の一因であった**急ブレーキ回数が約5割減少！**

※詳細については別添資料を参照してください。

※今後も継続的に効果評価を行い、さらなる事故削減に向けた改善に努めていきます。

《発表記者会 : 福島県政記者クラブ・福島市政記者クラブ》

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

福島河川国道事務所 副 所 長

あかさか ひろし  
赤坂 浩

電話:024-546-4331(内線205)

福島河川国道事務所 保全対策官

ばば のりお  
馬場 範夫

電話:024-546-4331(内線306)

# 一般国道13号

## トラックターミナル入口交差点の事故対策

(平成27年3月対策済)

各種事故対策の実施により、

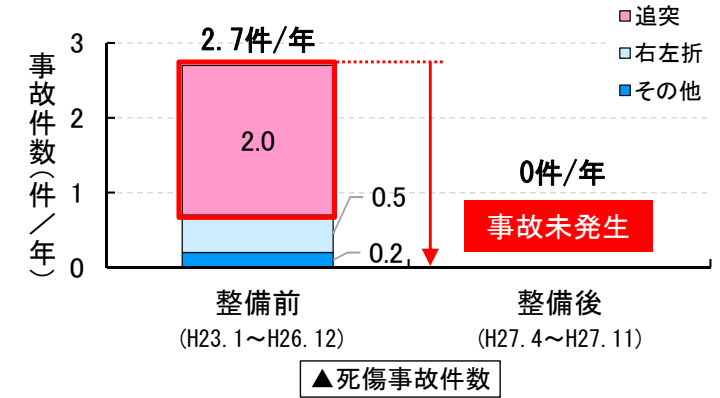
- ①死傷事故が未発生 (2.7件/年→0件/年)
- ②急ブレーキの発生回数が約4割減少

【位置図】



各種事故対策の実施により

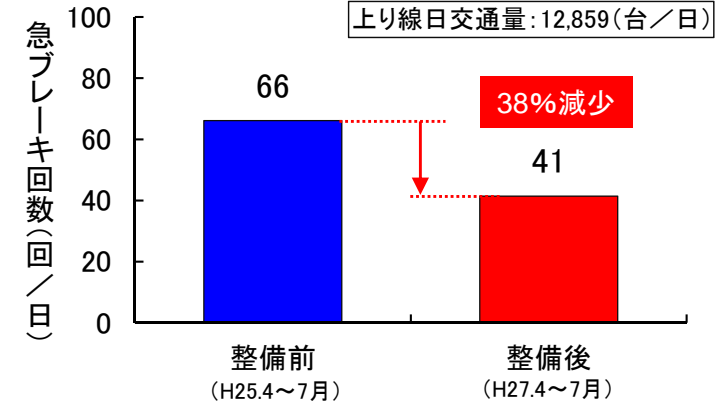
**死傷事故が未発生**



※H22~H25イタルダデータ、H26~H27福島県警察事故原票データ

各種事故対策の実施により

**急ブレーキの発生回数が減少**



※民間プローブデータ(上り線側)、H22交通センサス(上り線側)

整備前

整備後



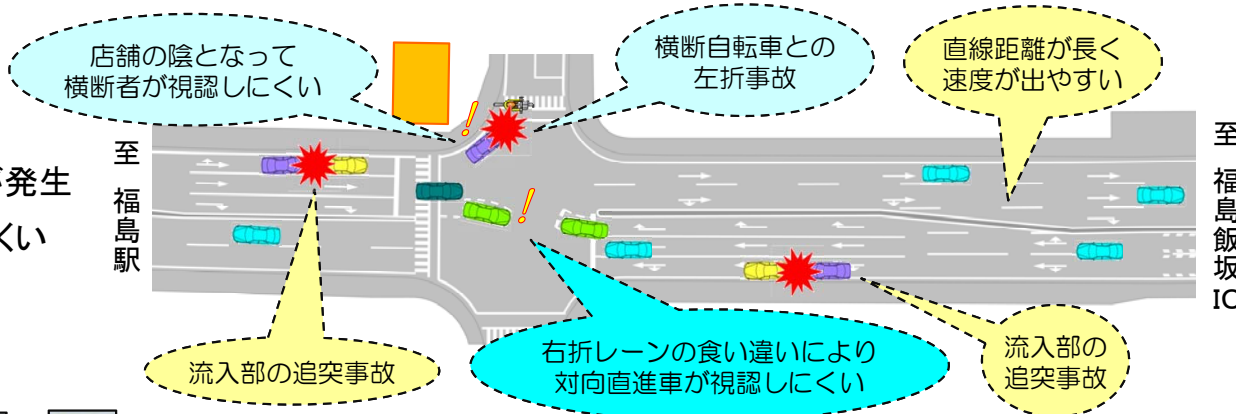
• 交差点前後が直線区間のため速度が出やすく、追突事故が発生

• 注意喚起路面標示のカラー化により、ドライバーの注意意識が向上

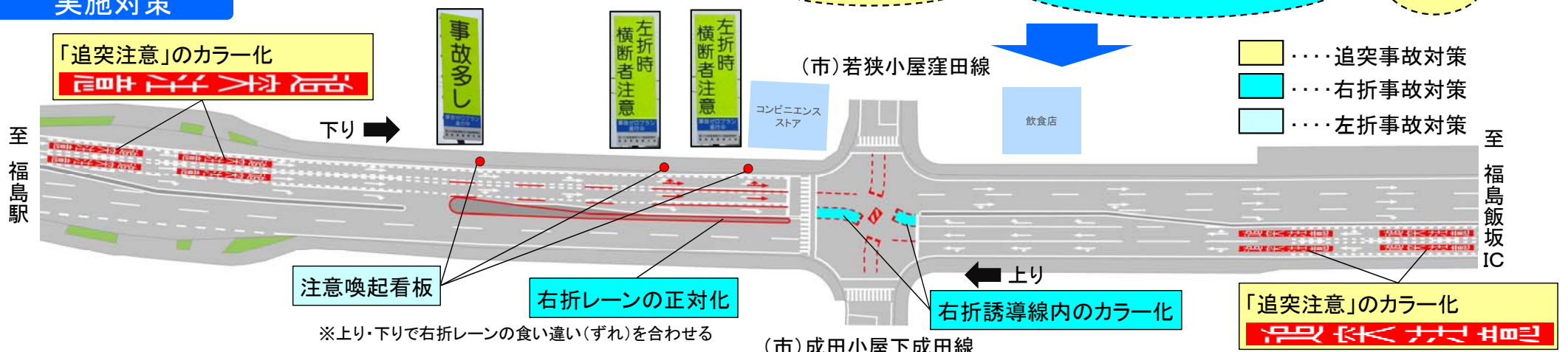
# 実施対策 ～追突事故・右左折事故の対策を実施～

## 整備前の問題点

- 前後が長い直線区間であり、速度が出やすく追突事故が発生
- 右折レーンの食い違いにより、対向直進車の確認がしにくい
- 左折時に店舗の陰となって横断者が視認しにくい  
※H18年12月死亡事故発生



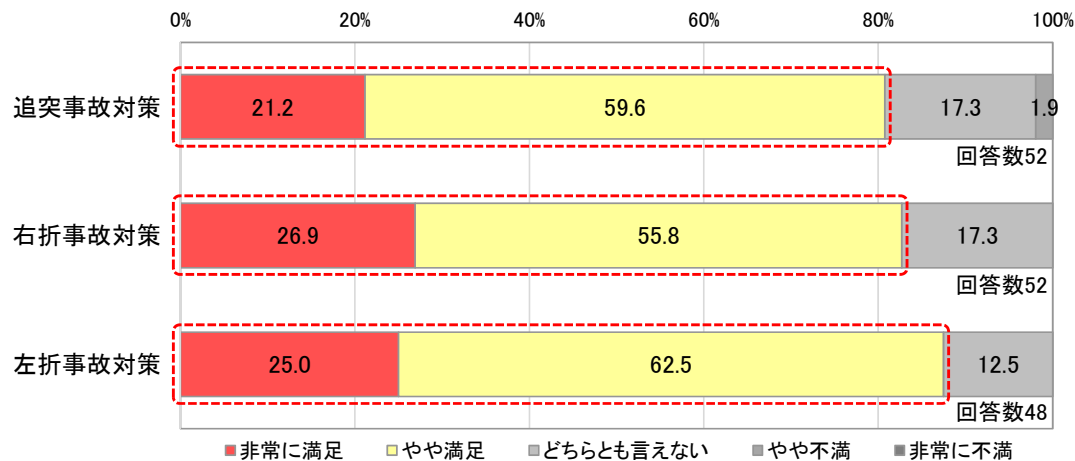
## 実施対策



## その他の実施効果

■ ドライバーの8割以上が、追突・右左折事故対策に満足

### 事故対策の満足度



### 【一般ドライバーの声】

- 追突注意の表示を見て、**スピードに気をつけるようになった。**
- 交差点で対向車線をはみ出すことなく行き過ぎることなく、**無理なく右折することができるようになった。**
- **右折ラインがわかりやすい。**
- 飯坂方面から右折することがあるが、**対向車が見やすくなった**と感じる。
- **左折時横断者注意の看板が目立って、注意するようになった。**

# 一般国道4号

かまた

## 鎌田地区の事故対策

(平成27年3月対策済)

各種事故対策の実施により、

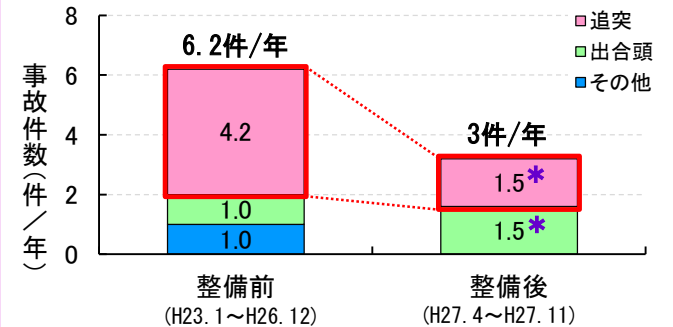
- ①死傷事故が減少(6.2件/年→3.0件/年)
- ②急ブレーキの発生回数が約5割減少

【位置図】



各種事故対策の実施により

死傷事故が減少



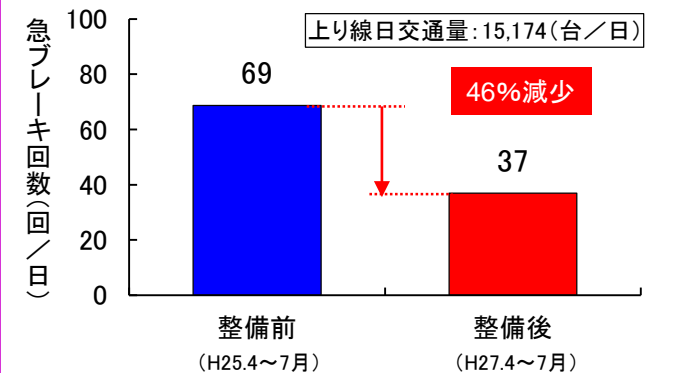
▲死傷事故件数

\* 追突事故、出合頭事故それぞれ1件/8ヶ月

※H22~H25イタルダデータ、H26~H27福島県警察事故原票データ

各種事故対策の実施により

急ブレーキの発生回数が減少



▲日交通量あたりの急ブレーキ発生回数

※民間プローブデータ(上り線側)、H22交通センサス(上り線側)

整備前

整備後



- 注意喚起路面標示はあるが、依然として追突事故が発生
- 植栽があるため、歩道部の見通しが悪く、沿道への出入の際に危険

- 注意喚起路面標示のカラー化により、ドライバーの注意意識が向上
- 植栽の撤去により、歩道部の見通しが確保され、安全性が向上

## 実施対策 ～追突事故・出合頭事故の対策を実施～

### 整備前の問題点

- 市街地で交通量が多く、また前後が長い直線区間で速度が出やすいため、急減速・急停止の対応ができず追突事故が発生。
- 沿道出入り口において、植栽があるため歩道を通行する自転車歩行者を発見しにくく危険。

### 実施対策

「追突注意」のカラー化



注意喚起看板



植栽撤去

コンビニエンスストア

(市)樋口卸町線

下り

至二本松市

(市)赤沼蘭塔前線

「追突注意」のカラー化



植栽があるため歩道部の見通しが悪い

自動車販売店

至伊達市

植栽撤去

ドラッグストア

(市)赤沼蘭塔前線

植栽撤去

上り

注意喚起看板



ホームセンター

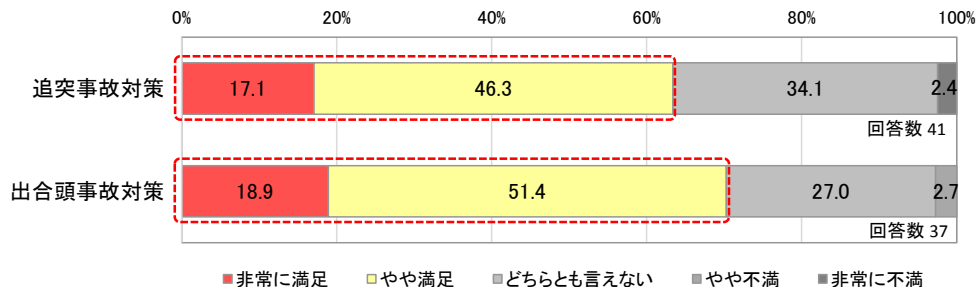
……追突事故対策

……出合頭事故対策

### その他の実施効果

■ドライバーの6割以上が追突事故対策に満足、約7割が出合頭事故対策に満足

#### 事故対策の満足度



#### 【一般ドライバーの声】

- 追突注意などの表示を見て、**スピードに気をつけるようになった。**
- 赤ではっきりと追突注意と道路に書かれていて**分かりやすい。**
- 標示があることで**意識が向上し、速度を落とすことが多くなった。**
- 追突注意の標識は自然と目に入り、**注意して運転している。**
- 視界が広くなり**十分に安全が確認されるようになった。**
- 植栽が撤去され**自転車等を発見しやすくなった。**